

平成17年大気環境中のアスベスト濃度調査結果

一般大気環境中のアスベスト濃度の実態を把握するため、平成17年9月から11月にかけて県内の7地点で調査を行った。

その結果は以下のとおりであり、過去に行った同地点での測定値と同程度で、いずれも大気汚染防止法が定める敷地境界の基準（10本/L）^{（注1）}未満の低い濃度レベルであった。

1 測定方法

試料採取及び分析は「アスベストモニタリングマニュアル（改訂版）」（平成5年12月環境庁大気保全局大気規制課）による。

2 調査結果

1日4時間3日間の採取で得られた3試料についての測定結果（平均）は表1のとおりで、7地点のアスベスト濃度範囲は、0.23～0.34（本/L）であった。

表1 一般大気環境の3日間の平均値

調査地点	地域分類	調査年月日	アスベスト濃度 ^{（注2）} （本/L）
佐賀市交通局 （佐賀市愛敬町）	商業地域	平成17年9月20日～22日	0.28
北山小学校 （佐賀市富士町）	その他	平成17年10月19日～21日	0.24
多久市母子保健センター （多久市北多久町）	住宅地域	平成17年10月19日～21日	0.25
唐津市役所 （唐津市西城内）	商業地域	平成17年10月26日～28日	0.34
伊万里市大坪公民館 （伊万里市大坪町）	住宅地域	平成17年10月26日～28日	0.25
武雄市役所 （武雄市武雄町）	商業地域	平成17年11月9日～11日	0.23
鹿島市役所 （鹿島市納富分）	住宅地域	平成17年11月9日～11日	0.26

（注1） 現在、大気中アスベスト濃度の環境基準が定められていないため、アスベスト取り扱い施設の敷地境界に適用される基準と比較

（注2） 濃度の単位（本/L）は採取空気1リットルあたりのアスベスト繊維本数で、数値は3日間の各測定値を幾何平均したもの

3 過去の測定結果

昭和61～62年度当時の同地点での1日4時間3日間の採取で得られた3試料についての測定結果（平均）の範囲は、表2のとおりで、0.08～0.57（本/L）となっている。

表2 過去の測定結果¹⁾

調査地点	地域分類	調査年度	アスベスト濃度 (本/L)
佐賀市交通局 (佐賀市愛敬町)	商業地域	昭和61年度	0.15~0.19
北山小学校 (佐賀市富士町)	その他	昭和62年度	0.09~0.20
多久市母子保健センター (多久市北多久町)	住宅地域	昭和61年度	0.11~0.28
唐津市役所 (唐津市西城内)	商業地域	昭和61年度	0.09~0.57
伊万里市大坪公民館 (伊万里市大坪町)	住宅地域	昭和61年度	0.09~0.32
武雄市役所 (武雄市武雄町)	商業地域	昭和62年度	0.14~0.41
鹿島市役所 (鹿島市納富分)	住宅地域	昭和62年度	0.08~0.26

(注) 数値は年間4回各3日間の各測定値を幾何平均値したものの範囲。

4 参考

一般大気環境等のアスベスト濃度を環境省が全国141地域361地点で17年度実施した調査結果²⁾では、一般環境の平均は0.23~0.31(本/L)となっている。

(引用資料)

- 1) 佐賀県環境センター所報、7、64-69、(1988)。
- 2) <http://www.env.go.jp/air/asbestos/index.html>

